

Akulaku社への出資について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長^{かめざわ ひろのり} 亀澤 宏規、以下 MUFG）の連結子会社である株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下 当行）は、今般、インドネシアを中心に東南アジアでデジタル金融サービスを提供するフィンテック事業者の Silvrr Technology Co., Ltd.（以下 Akulaku 社）への2億米ドル（約260億円）の出資（以下 本出資）を決定し、Akulaku 社と出資関連契約を締結いたしました。当行は本出資を通じ、インドネシアをはじめとするアジアでの様々な金融ニーズに対し、幅広いアプローチを行える体制を整え、アジアの成長を多角的に取り込むことに注力してまいります。

アジアを第2のマザーマーケットとする MUFG にとって、東南アジア最大の GDP を誇り、将来にわたる高成長が期待されるインドネシアは特に重要な市場です。当行は同国で、外国銀行最大級の規模を有するジャカルタ支店に加え、2019年4月にはダナモン銀行を連結子会社化することで商業銀行の事業基盤を確立してまいりました。

金融浸透率が低いインドネシアでは、成長著しいフィンテック企業などがデータと AI 技術を駆使しながら提供するデジタル金融サービスが勃興しており、将来銀行の顧客層となり得る個人や中小企業のアンダーバンク・アンバンク層^①の金融ニーズに応えることで、金融包摂^②の潮流が加速しています。

このような環境下、MUFG および当行は、2020年2月に東南アジアにおける配車・フードデリバリーを中心としたスーパーアプリ事業者である Grab 社と資本・業務提携し、MUFG の金融知見・ノウハウに Grab 社が有する先進的なテクノロジーやデータ活用のノウハウを掛け合わせた次世代金融サービスの提供を図ってまいりました。

また、2022年11月には、POS^③ローンを提供する有力なコンシューマーファイナンスカンパニーである Home Credit 社の買収^④を発表し、オフライン店舗での購買における金融ニーズの取り込み強化も目指しております。

本出資では、Buy Now Pay Later^⑤などのデジタル金融サービスを提供するフィンテック事業者である Akulaku 社を通じ、オフライン店舗に加え、オンラインでの購買における金融ニーズの取り込みも強化してまいります。

MUFG および当行は、東南アジアにおいて出資している各パートナーバンクの商業銀行プラットフォームをデジタルにより強化するとともに、拡大する金融ニーズを多角的に取り込むことで、アジアの成長により一層貢献してまいります。

《Akulaku 社の概要》

Akulaku 社は、2014 年に設立された大手フィンテック企業です。主にインドネシアで、E-Commerce や加盟店での顧客の購買行動に紐づいた Buy Now Pay Later などのデジタル金融サービスを提供しています。Akulaku 社のサービスは、金融浸透率が低いインドネシアにおいて、アンダーバンク・アンバンク層が購買する際の重要な金融インフラとなりつつあります。また、Akulaku 社傘下の Bank Neo Commerce は同国において有力なデジタルバンクとしての地位を構築しています。

[1] Underbanked・Unbanked 層：銀行のサービスを受けられない方々

[2] すべての人が必要とする金融サービスを利用できる状況

[3] Point of Sale ローンの略。耐久財の販売店などでの商品購入時に提供する割賦ローン

[4] Home Credit 社の買取については、以下をご参照ください

https://www.mufg.jp/dam/pressrelease/2022/pdf/news-20221124-001_ja.pdf

[5] 商品の購入代金を後日支払う決済方法

以 上